

日中友好協会 八王子支部ニュース



みんなで参加・多彩な活動！ 広げよう・大きな“わ”！ 佐藤副支部長：FAX:042-645-8415

2022. 6. 5 日本 AALA 連帯委・日朝協会・日中友好協会・治安維持法国陪同盟 各八王子支部共催
「ロシアのウクライナ侵略と日本国憲法」 講師 小松崎 榮さん(日本 AALA 顧問)

＜ロシアが国連憲章に反し、軍事力や核の脅しで言い分を通すことは許されない＞

(国連総会 141 カ国で非難決議)

ウクライナ国民には、帝政時代とソ連時代の恐怖政治の長い歴史の上に勝ち取った独立を覆す、強権と野望に満ちたプーチンの専制政治は許さない、という意識の高まりが存在する。

＜この機に乗じた日本政府・自民党等の憲法改定、『戦争する国』をめざす動きを止めねばならない＞

＝アメリカと共に海外で戦争する国に＝

安保法制による日米軍事同盟のさらなる強化(5月の日米首脳会談)、アメリカ主導、中国排除の「自由で開かれたインド太平洋」戦略～QUAD(日米豪印戦略対話)など

「敵基地攻撃」(＝先制攻撃と同じ)・核共有(核抑止論は際限なき核軍拡競争に)が議論に

「軍事費の大幅増」(5年以内にGDP2%以上)を表明

＝憲法の改定＝

- ① 9条に自衛隊を書き加える(後法は前法を破る)
- ② 緊急事態条項の制定(国会を形骸化)

安全保障は戦争が起きたらどうするかではなく、戦争をどう起こさないようにするかが大切である。そのためには特定の国を排除しない、地域の安全保障の枠組みをつくっていかなければならない

＜東南アジアでは ASEAN が中心となり、アジア・太平洋地域の平和友好の国際的枠組み作りを進めている＞

＝第二次世界大戦後の平和と人権保障の枠組みと ASEAN の結成＝

○ **国連憲章** 「紛争の平和的手段による解決」を規定 ～さらに国際人道法・世界人権宣言など

○ **バンドン宣言** 1955年 アジア・アフリカ会議 第二次世界大戦後の独立国で構成

○ **非同盟運動** 1961年第1回首脳会議 大国ブロックに所属しない国のグループ。120カ国が参加

○ **ASEAN(東南アジア諸国連合)**

1961年発足、99年までに下記の10ヶ国で構成の地域協力機構

タイ・インドネシア・フィリピン・マレーシア・シンガポール・ブルネイ・ベトナム・ラオス・ミャンマー・カンボジア

＝ASEANの域外への拡大＝

○ **TAC(東南アジア友好協力条約)** 1976年～主権尊重・内政不干渉・武力行使の放棄などを規定。1989年以降、域外国にも開放され、現在42ヶ国が加盟。(域外国とASEANの条約、経済面の協力も)

○ **ASEAN+3(＋日本・韓国・中国)** 1997年～ 外相レベル等の会議も開催

○ **東アジアサミット(EAS)** 2005年から毎年開催の首脳会議。TACへの参加が条件

現在、ASEAN +3, に 米・ロシア・印・豪・ニュージーランド を加えた18ヶ国が参加

○ **ASEAN インド太平洋構想(AOIP)**を2019年に発表↓

さらにTACを指針に、インド・太平洋地域を包括的に、対話での発展の地域にしていく

日本は、戦争の放棄、戦力・交戦権の否認を第9条に規定した先進的な憲法を持つ。日本はそれを活かし、平和外交を進めていくべきである

また2021年発効の**核兵器禁止条約**への署名・批准を、唯一の被爆国である日本政府に求めていくことが重要である。

緊迫した現在の情勢のもと、視野の広がる講演だった。

(まとめに当たり、年度等を資料から補った) (芝沼記)



今から10年前、わが日中友好協会八王子支部の創設者のお一人・高橋秀男氏ご夫妻が、北京に短期留学した。その時の日誌があると聞き、掲載させていただくことにした。

2011年8月26日(金)

朝から土砂降り。そして今日は結業式(修了式)。講堂に留学生部長さんが来てくださり、一人ひとりに立派な「结业证书(修了証書)」をくださった。そのあと記念撮影、Wu老師も立ち会って、一人ひとりと握手をし、そのあと、ハグ。老師も涙ぐんでおられた。この日は日本語の通訳の人も来ていて、Wu老師から「今回の留学生はとてもよく勉強して成果が上がりました」と褒めていただいた。



午後ひと眠りしてから王府井(銀座のようなところ)へ教会を探しに行く。今日はすんなりと王府井の大通りに行くことができた。やっとのことで十字架のついた屋根を見つけた時はうれしかった。大きな古い教会だった。中は薄暗い。写真をとってもよいと言われた。信者らしい女性から中文のパンフレットをいただき、心の中で少し祈り、外に出た。おそらく、この教会は中国政府の指導下にある愛国教会と言われるものかもしれない。ローマとつながっている地下教会はどこにあるのか、外国人には知る由もない。でもとにかく、教会に行けて満足だった。

王府井の言葉の元となった井戸の跡もやっと見つけて写真を撮った。大通りの歩道にあった。透にパンダのTシャツを買い、おばちゃまに月餅を買ったが、土地柄でやはり少し高いようだ。

今日は池さんの最後のレッスンなので夜、7時か



ら池さんを誘って、近くの重慶料理店に行く。中はとても立派で、テーブルごとに部屋が仕切られており、鍋料理だ。池さんの故郷の料理なので、彼女がすべて取り仕切ってくれる。食べるのに忙しく、勉強にならなかった。池さんともお別れで、お名残り惜しい。日本に行きたいと言っていた。

2011年8月27日(土)

朝、溝口さんが部屋に来られる。日本語学科の教授と初めて会われたらしい。「これからは教授から、私たちと学生たちとの交流を少しはバックアップしてもらえるかもしれない」と喜んでおられた。

午後、宇野さんとバス(101, 104)で双橋の巨大スーパー(超市)に行く。水槽で生きたお魚も売っていた。帰ると、宇野さんが太極拳で知り合った、アールワイの教授の奥さんが訪ねて来られ、皆、宇野さんの部屋に集まって話をする。日本の豊田自動車で3年働いていた女性がいて、通訳をしてくれ、楽しかった。声のきれいな奥さんだった。

2011年8月28日(日)

朝5時、暗いうちに宇野さんは一足先に帰国。玄関まで見送る。私たちと溝口、森本、前川さんの5人は午後1時出発、5時ごろの飛行機で、溝口さんらは名古屋へ。私たちは東京へと飛ぶ。羽田10時半着。統子とアーちゃんが迎えに来てくれていた。すぐにリムジンで八王子へ。

あっという間の一カ月の留学だった。とても充実していて楽しかった。多くの人と出会い、仲良くなった。中国語を教えていただいた武霊先生(老師)をはじめとして、絵を教えていただいたTao Wei Ju先生(老師)、中日友好病院の史先生(大夫)、いっしょに勉強した13人の仲間の方々(同学)、そしてスーパーのお菓子売り場のお姉さん、安い食堂のお姉さん、宿舎を毎日掃除してくれた服従員のお嬢さん、皆さんとてもおおらかで親切だった。こんなすばらしい時間を与えていただいたことに感謝。来年もできればまた行きたいと思う。

(敦子)



呂布

華雄が討たれ董卓軍が総崩れとなつたことは、董卓に速やかに伝わつた。「華雄討たれる」の報に驚いた董卓軍は20万の軍をもって洛陽を發し、5万の兵を汜水関の救援に向かわせた。残る15万の兵を虎牢関に向かわせた。虎牢関は、洛陽より、50里。天險の要塞でここに10万の兵を置けば天下の諸侯は通路を失うといわれた。董卓は、ここに12万の兵を配置し、さらに3万の兵を前方に陣取らせ、呂布に指揮をとらせた。

連合軍も董卓が兵を分けたことを聞き、二手に分かれた。劉備たちは虎牢関の軍に加わつた。連合軍と呂布軍は戦闘になつたが、ここで、呂布は鬼神のごとき活躍をみせ、連合軍の先鋒の北平太守公孫瓚をも退けた。

呂布はここで自身の天下無双ぶりを見せつけたというのである。三国志演義では、この場面で、呂布と張



三国志演義(三国志) 連環圖23 呂布と張飛、関羽、劉備の戦い

飛・関羽・劉備の3兄弟が戦うが、3人相手にさすがに苦戦した呂布は撤退する。

こうして呂布の撤退により、連合軍は勢いづき、虎牢関に迫るのである。

逃げ遅れた董卓軍は全滅し、この日の激戦は両軍多数の死者を出して終結した。

『人を見つける、人を育てる、人を生かす』 佐藤 一義

上記の言葉は、後藤新平語録にあります。ここでは、我が支部で生かしかれなかった3つのイベント(3人の人物)について書きます。

① 莊魯迅氏(中国人演奏者、ギターと歌による弾き語り。「漢詩と大地の歌」NHK 特別講座の講師 etc.)



故高島氏(元八王子支部理事)が精魂を込めて残してくれた魯迅コンサート(2006年)。強烈なまでに心に響く激しいメロディー(ビート)と澄み切った音声がマッチし、聞き入るすべての聴衆を虜にした。

② 虎頭氏(中国農民画)

AERA(朝日新聞出版)で次世代を引っ張る若者100人として紹介された。素朴な中でも美しさと中国農民の力強さ(息づかい)を丹念に繊細な心身一体の画風の講座だった。仕事で上

海本部に戻ると共に、彼がかもし出す優しさと心意気がプツリと消えた。(中国農民画は都連ニュースの一面によく載っている画です)

③ 塚原女史(中国組み紐)

彼女を中心に女性スタッフが総動員となり、盛りに盛り上がった中国組み紐。市民祭にも出品し、年始の干支も作成。子どもたちにも人気があったのに、彼女の仕事移転と共に強固な組み紐が溶けて立ち消えた。

○この三つのイベントは独自に支部が開発し、都連でも大きく取り上げられ表彰されている。どれか一つでも継続可能にすべきだったと後悔している。



15年の月日を経ると、何事もなかったかのように・・・今があり、支部ニュースの片隅にその時が載っているだけ・・・。

ロシアはウクライナ侵略を 即時中止せよ

2022. 6. 26 中国映画を観る会

白い馬の季節

監督: ニンツァイ

出演: ニンツァイ・ナーレンホア



砂漠化が進み、政府の緑地化政策により放牧地をうばわれ、伝統的な遊牧民生活ができなくなる中国・内モンゴルで生きる家族の葛藤を描いたヒューマンドラマ。遊牧民族の象徴でもあった馬を野に放ち、とぼとぼ舗装道路を街に向かう父子の姿と、放たれた白い馬もまた、道路を進むラストシーンが印象に残る。

軍拡より
攻められない
外交を!

だれも
憲法変えるの
望んでない!

今こそ
9条を世界に!

敵基地攻撃
(反撃能力)は
戦争をしかけること!

核兵器禁止条約に
日本も参加しよう!



第84回

NO WAR! 八王子アクション

7月17日(日)

10時30分~11時30分 JR八王子駅 北口 集会

日中戦争兵士は戦場で何を見たのか

85年前の1937年、日本は、盧溝橋事件をきっかけに日中全面戦争に突入した。その戦場で兵士は果たしてどのような光景に出くわし、どのような行動をとったのだろうか?

ビデオ上映とお話(五井信治さん)

2022年7月24日(日)午後1時半~4時

アミダステーション2階

資料代 500円

私の本棚



☆☆☆新企画、読者と作るページ☆☆☆

この「私の本棚」という欄を、皆さんの手元にある(又はあった)本の中で、これはよかったという本を紹介しあって、意見交換し合えるコーナーに出来ればと思います。

いい本だったけど、内容を書くのが面倒という方は、本のタイトルと著者や出版社だけでも結構です。紹介文を書く場合は長さに拘りません。ご意見、ご要望等なんでもかまいません。

〇寄稿いただく場合の送り先;

松澤 正人 e-mail: erhudeniko@gmail.com FAX: 042 (664) 1642



《日中友好協会八王子支部日程》

7月24日(日) 10:00~理事会

13:30~学習会

日中戦争をテーマに映像と語り

7月31日(日) 13:30~クリエイト第5学習室

「日米安保と沖縄の現状」(四団体共催)

8月20日前後(日程未定) 10:00~理事会

8月28日(日) 12:00~日中八王子支部総会

13:30~八王子フェスタ(支部発表会)

9月25日(日) 10:00~理事会

13:30~映画会「宋家の三姉妹」

好評につき、再上映

日中友好新聞は、東北アジアの平和に役立つ確かな情報と中国の文化・歴史の豊かな情報を持つ、月2回発行のタブロイド判8Pの新聞です。嫌・反中報道が溢れる中、公正・中立な報道をしています。ぜひご購入下さい。

1ヶ月550円(送料込み) 購読申込 042-645-8411:佐藤